

## 武漢熱線

大分市武漢事務所 趙 南星

Wu-han Hot Line

## 旧正月中の日本旅行が大人気！

中国では空前の日本旅行ブームとなっています。旧正月の10日間で約45万人の中国人観光客が日本を訪れました。「なぜ多くの中国人が日本に旅行するのか」と多くの人が疑問に思うかも知れません。これは、中国国内の物価上昇と元高により、外国の物価との違いを感じられなくなってきたことが要因の一つです。

また、近年は大気汚染が深刻化しており、休日は空気のきれいな海外で過ごす人が増えているのです。急激な円安をきっかけに、もともと日本の優れた製品と、快適な自然環境にあこがれのあった中国の人々にとって、日本は海外旅行先の最有力候補となったのです。

## 円安&amp;ビザ緩和で中国人観光客が増加

旅行業界関係者によると、旧正月中に日本への旅行者が増加した要因を次のように挙げています。

一つ目は、円安が進み、日本での買い物が有利になったことです。最近のレートは100円=5.26元であり、前年と比べて約15%円安が進んでいます。数年前の100円=8元の時と比べると、約35%円安が進んだこととなります。

二つ目は、日本が昨年10月に免税対象品目を拡大し、食品類や飲料類、化粧品類が免税対象となったことです。これにより、日本での買い物を目的とした中国人観光客が増加しています。

三つ目は、中国人へのビザ発給要件が緩和され、多くの中国人が3年間有効のマルチビザを容易に取得できるようになったことです。より気軽に日本へ旅行することが可能になりました。

四つ目は、原油価格が急落したことにより、航空機の燃油付加運賃が値下がりしたことです。日中国際線の燃油付加運賃は、往復で約200元(約3,800円)値下げされました。

## 中国人観光客は日本で「コンテナ買い」

今年の旧正月には、中国人観光客が日本で60億元(約1,125億円)分の買い物をしたとのこと。「爆買い精神」を日本に持ち込んだ中国人観光客は、ステ

ンレスボトルからブランドバックまで、多くのデパートの商品棚を空にしました。

ある人が友人から荷物の引き取りを頼まれ、空港に行ってみて呆然としたそうです。

普通の荷物かと思っていたら、出てきたのは小型コンテナだったそうです。

そのコンテナは空輸専用で、一辺約150センチメートルの大きなものでした。中身は、テレビ3台、エアコン3台、数セットの音響機材、冷蔵庫と水回り製品などが入っており、今流行りの温水洗浄便座までありました。

また、ある家族は旧正月に日本へ旅行し、東京秋葉原のデパートで熱心に買い物をしました。中国人観光客に最も人気のある商品は、「四種の神器」とも言われるステンレスボトル、セラミック包丁、温水洗浄便座、炊飯器の4つです。同じ商品でも、日本での価格は、中国で買う価格の三分の一であり、特にハイエンドの商品はそれ以上にお得なようです。例えば、某有名メーカーのステンレスボトルは、日本で買えば7,000円程度ですが、中国のネットショップでは680元(約13,000円)で、日本の倍近くの価格で販売されているのです。

## 富裕層の間では個人旅行が流行

旧正月、日本各地の観光地では、中国人観光客が大幅に増え、箱根では前年度比80%の増加でした。富裕層の間では、自分の好きなテーマに沿った個人旅行が流行っています。例えば、日本の空気のきれいな場所に「肺休養旅行」に行ったり、北海道などでの「スキー旅行」、日本全国を周って「写真撮影旅行」などの個人旅行が人気です。

日中双方にとって、この状況は喜ばしい状況です。多くの中国人が日本を訪れ、相互理解がさらに進むと良いですね。